

「浜町公園における日本橋中学校仮校舎整備に関する住民説明会」質疑応答一覧

項目	質問要旨	回答要旨
仮校舎計画	なぜもう少し早い段階からこの計画を検討しなかったのですか。	教育委員会では毎年児童推計を行っており、将来的な教室の不足を予測した時点で、対応等を検討して、最も早い時点で議会に報告しています。
	給食提供可能数の不足と改築の必要性の関係がわかりません。	現校舎の給食室では最大500食提供できるのところ、令和8年度には提供困難と予測しました。普通教室が不足する中、給食室を拡張することも難しく、改築が必要と判断しました。
	この仮校舎整備の計画全体の予算を教えてください。	仮校舎については、昨年度から基本設計を委託し、浜町公園の事前調査や仮校舎配置検討を進めています。契約額は4,516万円となっています。仮校舎の実施設計、整備工事及び運営については、現在発注手続き中のため、契約額ではありませんが、予算としては19億8,000万円を計上しています。また、樹木に関しては、既に実施した根回し工事が3,850万円、これから施工する代替広場整備及び移植工事が7,381万円です。他に、圃場にて樹木を管理する費用が必要です。
	築年数の浅い建物を改築することは社会的資本の浪費ではないですか。	現校舎は昭和49年に竣工し、今年で築49年となります。区の方針ではコンクリート造の場合、目標耐用年数を70年と設定していますが、現校舎では、さらなる教室確保が困難と判断し改築を検討しました。
	短期間しか使用しない仮校舎に過度に費用をかけているように思います。	城東・阪本小学校の仮校舎と同程度の仮校舎を整備する予定で、適正な水準であると考えます。
	仮校舎建築の工期が延びることはありませんか。	仮校舎整備は、令和7年9月からの学校運営開始を契約の条件とするため、遅れることはないと考えています。
	仮校舎の範囲は資料の図面のとおりで決定していますか。	資料P13図中の赤い破線は仮囲いの設置位置を示しています。資材置き場やクレーン作業に必要なスペースを確保するとともに、公園利用者や地域の方々の安全を確保できるよう設定しています。建物の想定位置は図中のピンク部分で、建物周りにフェンスを設置しますが、清正公寺の出入り用の通路は確保します。
	仮校舎の敷地面積、延床面積を教えてください。	現時点では敷地面積2,900㎡程度、延床面積5,400㎡程度となる想定です。
	もう少し建築面積を小さくして移植する樹木を減らすことはできませんか。	仮校舎は最小限の規模となるよう、家庭科の調理室と被服室各1室を統合して家庭科室1室にする等の工夫をしています。また、城東・阪本小学校の仮校舎では体育館も整備しましたが、今回は総合スポーツセンターを使用することで、縮小を図っています。
仮校舎の建築事業者が決定してから設計を開始するということですが、資料に示されている図面はどのように設計されたものですか。	仮校舎はリース業者が実施設計を行い、施工します。リース業者発注にあたり、建物の仕様を決定するため、設計事務所に仮校舎の基本設計を委託して資料の図面を作成しました。このため、整備内容の大きな変更はないと認識しています。	

仮校舎計画	仮校舎整備の計画の周知が足りていないように思います。	日本橋中学校改築に関して、令和4年9月の区民文教委員会及び環境建設委員会で区議会に報告後、地元の町会長や日本橋地域の学校PTAへ概要を説明しました。また同年9～10月には、日本橋地域の小学校6校と日本橋中学校を中心に周知し、説明会を開催しました。その後、仮校舎の配置等の詳細を検討し、仮校舎整備による影響とその対策について、地域の方々や公園利用者に対し説明すべきと考え、今回の説明会開催となりました。今後、仮校舎の整備内容などについては、より多くの方にお知らせできるよう周知方法を検討していきます。
	児童生徒数が増加している状況では、仮校舎をまたほかの学校が使うということはありませんか。	浜町公園の中で仮校舎として利用できるスペースは、非常に限られた面積となります。公園に近い日本橋・有馬・久松の各小学校は規模が大きいことから、今回整備する仮校舎では運営が困難となります。
	仮校舎の建築事業者が決定した後、再度計画について周知をしてください。	今後決定していく内容については、順次ホームページに掲載します。どのような周知方法がよいか検討していきます。
代替案	これまで中央区には何校中学校がありましたか。	昭和30年代、区内には公立中学校が10校ありました。その後、生徒数の減少や建物老朽化、他用途への転用などにより統廃合が行われ、現在4校となっています。
	千代田区にある定時制・通信制の一橋高校の空き教室を借りることや、元々学校であった京華スクエア、十思スクエア等の区施設を利用することは検討しましたか。	義務教育である公立中学校は、その自治体の学校に通うことを前提としているため、区外施設の使用は検討していません。また、ご指摘の区内施設は仮校舎として必要な面積を確保できないことや、現在運営中の保育園や特別養護老人ホーム等を移転することが困難であるため断念しました。
	資料に挙げられている代替案をどの程度検討したのですか。なぜ浜町公園でなければならないのですか。	資料P10の代替案の内、③～⑤は、久松小学校の普通教室不足の際、2年程度検討した案で、①、②は騒音等による教育環境の影響が大きいこと、⑥は生徒の負担が大きいことから、実施困難との判断に至りました。仮校舎の建築面積は1,800㎡程度に加え、校庭や体育館も必要となることから、仮校舎用地を確保し、総合スポーツセンターなどの運動施設を活用して良好な教育環境を確保できる場所として、日本橋地域内では浜町公園以外ありませんでした。
移植	なぜ樹木のことを論点となっているのでしょうか。また、代表的な論点を整理し教えてください。	自然環境の少ない都心部では、景観形成や日陰の創出等、樹木が都市生活の向上に寄与しており、公園等の樹木保全が求められます。このため、区では仮校舎の整備に伴う既存樹木の保全にあたり、整備範囲内全ての樹木の移植を計画しています。一方、樹木がなくなることや現状のとおり復元できるのかといったご懸念からご意見があるものと認識しています。他のご意見では、①合意形成のあり方、②代替案の検討経緯、③代替広場の整備、④工事や仮校舎の周囲への影響、⑤仮校舎利用期間の教育活動があります。
	根回し工事を行ったことで枯れてしまった樹木があります。根回し後半年程度で移植するのは早いのではないですか。	ご指摘の樹木は、根回し工事以前から状態が悪く、根回し後も夏場は水やりの回数を増やす等の対応を行っています。令和6年度から仮校舎整備を開始し、令和7年度には仮校舎への移転が必要であることから、お示しのスケジュールで進めています。
	樹木の移植に関して、事前に住民に対するヒアリングはしましたか。	ヒアリングは行っていません。
	根回しが必要な樹木と必要でない樹木はどのような違いがありますか。	範囲内全ての中高木に対し樹木医による移植の判定を行い、幹回り60cm以上の大きな樹木は根回し工事を行っています。

移植	枝を切り落として移植した樹木は、公園に戻して元の状態に戻るのに何年かかりますか。	10年20年の長い期間をかけ、樹木が確実に成長し緑陰を増やせるよう、配置を工夫する等、育成に努めます。
	これまでに移植した樹木を再移植して元の状態に戻った実例はありますか。	城東・阪本小学校の仮校舎を整備した坂本町公園においても、樹木の移植・再移植を行っています。樹形が元の状態に戻るには数十年を要するかと考えますが、樹木の新植、芝生広場やビオトープ等、公園全体を再整備しました。
代替広場	小さい子供やペットを連れての方が多く利用している築山をなぜなくすのですか。代替広場が必要な理由は何ですか。	現在の広場ではイベントや遊び場として利用され、同様の平地の広場が必要だと考えています。築山を多くの方が利用しておりますが、代替広場の整備にあたっては、他に平地を確保することが難しく、やむを得ず築山を撤去することとしました。
	代替広場という説明がありましたが、代替とはどのような意味ですか。	仮校舎整備を想定している広場の機能を確保するための代替地と考えています。
	遊具を使用して遊ぶ幼い子供と、広場で駆け回るような小学生くらいの子供の双方が楽しく安全に遊べる十分なスペースを代替広場で確保できるのか不安です。	代替広場の整備後、公園の利用状況は区でも確認していきます。危険な状況など、対応が必要であれば早急に行っていきます。
	これまで町会のイベント等で広場を利用してきましたが、代替広場の利用や施設に関して要望することができますか。	代替広場は、現状の広場と同程度の面積・機能を確保したいと考えています。利用や施設に関してはご要望いただければと思います。
	工事の時間帯は決まっていますか。	通常午前9時から午後5時の間で工事を行います。
	代替広場工事の周知方法を教えてください。	本説明会の全日程終了後速やかに、公園内に工事の案内を掲示します。
仮校舎運営	体育の授業はどこで行うのですか。	総合スポーツセンターの主競技場や浜町グラウンド、夏季はプールを利用して授業を行う予定です。
	部活動の時間帯を教えてください。	6時間授業であれば16時頃の下校時間後、18時30分頃まで活動します。
	浜町公園内への生徒の出入りに使う場所は決めていますか。	公園利用者との動線の交錯を防ぐため、生徒の出入口はあらかじめ指定する予定です。具体的にどここの出入口とするかについては、公園の管理者とも十分協議しながら決定していきます。
	公園周辺道路は、普段から公園利用者の急な飛び出しが多く、車の運転にあたり危険を感じています。生徒に対しても交通安全指導をお願いします。	区立学校では生活指導の中で交通安全について指導しています。生徒と地域の方々が理解し合えるよう、より丁寧に指導を行っていきます。
	仮校舎のセキュリティはどのようになっていますか。	生徒用の出入口を一つにし、登下校時以外は常時施錠します。生徒が総合スポーツセンターへ移動する際も、公園やスポーツセンターの利用者の方との動線の交錯を防ぐため、一定のルールを設ける予定です。
	仮校舎から出るごみの処理はどのようになりますか。	資料P12に示す仮校舎1階のごみ置場で保管し事業者が収集します。給食提供に伴うごみは、委託業者により毎日収集します。また駐車場は仮校舎の南東側の通りに面した位置に設ける予定です。

仮校舎運営	部活動を近隣の小学校で実施する予定ということですが、利用する可能性がある小学校はどこですか。	総合スポーツセンターの利用が必要最小限となるよう、部活動については近隣小学校と活動時間や内容を調整しています。仮校舎から徒歩での移動となるため、日本橋・有馬・久松などの近隣の小学校が中心になると考えています。
	小さい子供と中学生の活動場所が近くなることは不安です。子供の安全が守られるような対応をお願いします。	代替広場で教育活動を行うことはないものの、登下校の際に生徒が利用する可能性があります。学校では、公共の場所を利用する際のマナーについての生活指導を通して、地域に支えられていることへの感謝の気持ちを持ちながらも、生徒が窮屈な思いをすることのないよう、地域の方々と共存できる関係性を築いていきたいと考えます。一方、中学校の職場体験では保育園や幼稚園で小さな子供と接する場面があり、思いやりの気持ちも醸成されると考えています。学校運営に関してご意見をお寄せいただければ、教育委員会でも丁寧に対応していきます。今後、詳細が決まり次第、中学生の動線や誘導員の配置等の運営方法についても検討していきます。
スポセン利用	仮校舎の使用期間は総合スポーツセンターの一般の利用は限られてしまうのですか。	中学校の体育の授業や全校行事では主競技場を利用することになりますが、必要最小限の利用になるよう調整をしています。温水プール等についても一定期間に集中して利用することとしています。利用に制限は生じてしまいますが、極力影響を少なくするよう調整し、夜間や休日など中学校の教育活動が行われない時間帯はこれまでどおり一般利用の方にご利用いただけます。
	中学生は浜町運動場をどの程度使用しますか。一般利用に影響がありますか。	一般利用と中学校の利用が重複しないよう調整していきます。浜町運動場は中学校の校庭として常時利用するのではなく、授業時間数に合わせて必要最小限の利用になるよう調整していきます。一般利用や保育園の利用にできるだけ影響がないよう調整していきますが、学校利用がある場合には事前にお知らせします。また、大江戸まつり盆おどり大会などの行事にも影響が出ないよう考えています。
	生徒は休み時間に浜町運動場を利用することはできますか。	中学校の休み時間の活動場所は仮校舎の他、総合スポーツセンターの主競技場も利用する予定です。
周知	根回し工事が完了した段階での説明会は、タイミングとして適切でないと思います。また、今回の説明会についての周知が不足していると思います。	仮校舎整備により約6年間、現在の広場が利用できなくなることは、地域に大きな影響があると認識しています。工事や学校の設置による影響とその対応について検討し説明するため、今回のタイミングでの説明会開催となりました。説明会の周知については、区のおしらせ及びホームページでの案内をはじめ、地元の日本橋五の部連合町会の各町会の方に回覧と掲示を依頼し、浜町二丁目にお住まいの約3,000戸の方には案内をポスティングしました。
浜町公園整備	仮校舎利用後の公園の整備はどのように考えていますか。	令和11年8月に仮校舎が撤去される予定となっています。近年の公園整備は地域の方々の声を取り入れながら行っており、浜町公園でも同様に整備していきます。
新校舎・千代田公園	新校舎の校庭はどこに整備されますか。	屋上校庭を整備する予定です。可動屋根を設け、雨天でも利用できるよう計画していきます。
	発電機はどこに設置されますか。屋上だと屋上校庭のスペースが制限されると思います。	受変電設備は浸水被害を防ぐため、屋上階に設置する予定です。一方、校庭面積を確保するため、設備室の面積は最小限としていきます。

千代田公園	千代田公園を含めた日本橋中学校の整備後の図面が資料に掲載されています。この計画が最初にあって、仮校舎整備という話が出たのではないですか。	資料P5の図は整備イメージであり、決定したものではありません。千代田公園の大部分を中学校で使用している現状を踏まえ、今回の改築を機に、学校と公園を一体的に整備するものです。浜町公園も含めた日本橋地域全体の環境をよりよいものにできる計画を目指したものです。
	千代田公園の整備はどのように検討していますか。	日本橋中学校と千代田公園合わせて約5,000㎡となります。千代田公園は、都市計画上の面積は約2,000㎡ですが、現在は資料P5の図中の黄色で示したとおり、公園利用は半分以下の広さとなります。整備後は千代田公園として2,000㎡の面積を確保していきます。今後都市計画変更の手続きを行っていく中で、具体的な計画を示していきます。
その他	工事期間中の周辺道路の渋滞・安全対策は考えていますか。	交通管理者である警察との協議のもと、工事業者への指導も含め渋滞対策を行っていきます。特に夜間搬入等を行う場合は事前に地域の方々に十分な周知を行い、工事を進めていきます。
	日本橋中学校へ区外から就学している生徒はどのくらいいますか。今後どのくらいになると想定していますか。	区外から日本橋中学校に就学している生徒数は現時点で10名程度です。いずれの方も区内から区外へ転出した後も引き続き学年末や卒業まで日本橋中学校に通いたいということが理由であるため、今後の見込みは想定が困難です。
	児童推計はどのように算出しているのですか。確度の高いものですか。	将来の児童生徒数は、転出入での増減や指定校以外の区立学校や私立学校に進学への就学等を過去の傾向を踏まえて、学校への入学者数を予測しています。現在生まれていないお子様についての出生数は予測値となる一方、資料P4の推計結果における今後9年間の就学者数は、現在生まれている人数をもとに推計しているため、確度が高いと考えています。
	この説明会の目的は浜町公園周辺の住民との合意形成ということですか。	日本橋中学校改築に伴う浜町公園内の仮校舎整備は、地域の皆様に大きな影響が生じるものと考えています。このため、区がこれまで検討した計画内容やその対応策についてお示し、ご理解を求めることが重要と考え今回の説明会を開催したところです。
	教室を増やしていったら、将来的に余剰教室が出てきた場合の利用について計画はありますか。	生徒数の減少は現状では予測しがたいところです。基本的には学校として利用しながら放課後や休日に施設開放を行っていく予定で、新校舎では開放部分と教室を区画するシャッターを設置する予定です。将来的に学校としての機能を縮小することになった場合は、そのときに必要とされる用途に合わせ対応していきます。
	浜町公園は災害時の避難場所として指定されていますが、その機能は保たれますか。	仮校舎整備後も公園全体で十分な避難スペースを有していることから、一時集合場所としての機能に支障がないと認識しています。

※ご質問いただきました区立小中学校の系統図を掲載しました。

<https://www.city.chuo.lg.jp/a0049/kosodate/gakkoukyouiku/kyouikuiinkai/chosa/keitouzu.html>